

# ヒレタゴボウ対策について

## 【ヒレタゴボウとは】

- 熱帯アメリカ原産の帰化植物で、管内の水田で近年発生が増加しています（写真①）。中干し後の7～8月にかけて急速に成長し、草丈は1メートル以上にもなります。黄色の花（写真②）が特徴で、秋には大量の種子を落とします。



写真①



写真②

- 長期間にわたり発生が続くため、植え付け直後の初期除草剤だけでは発生を抑えることが難しく、中干し直後に中後期除草剤を使用する必要があります。中干し期間中に幼植物（写真③）が多く見られた場合は、防除を行ってください。



写真③

- 本年に発生が見られた水田では翌年も発生し、その数も大幅に増加します。1株で非常に多くの種子（千～万単位とも）を生産し、初期の除草だけでは防除しきれないため、**中干し前後に中後期除草剤の散布を徹底することが必須です**。本年に発生した水田を記録し、来年の防除に備えましょう！

## 【効果のある薬剤】

商品名	剤型	使用薬量 /10a	推奨処理時期 (ヒレタゴボウの草丈)	収穫前日数
ウィードコアジャンボSD	ジャンボ剤	200g	10cm～15cmまで	収穫60日前まで
レブラス1キロ粒剤	粒剤	1kg	7cmまで	収穫60日前まで
バサグラン粒剤	粒剤	3～4kg	20～30cmまで	収穫60日前まで
クリンチャーバスME液剤	液剤	1000ml	30cmまで	収穫50日前まで